

史学委員会科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会
(第25期・第2回)
議事要旨

1. 日時：2021年3月27日（土）10：00～12：30
2. 場所：オンライン
3. 出席者：佐野、隠岐、河村、木本、高橋、田口、建石、中村、野家、橋本、兵頭、溝口

議題

(1) 前回議事要旨の確認
前回議事要旨が確認された。

(2) 学術研究と科学基本法の関係について

『学術の動向』5月号の特集原稿に関する情報共有と、科学技術基本法改正に関する論点についての意見交換が行われた。主な意見は次のとおり。

- ・ 学術研究の意義について、長期的な観点から有用であるという議論と、有用性にかかわらず真理探究それ自体に意味があるという議論があり、その点が争点となってくるのではないか。
- ・ 政策動向への対応という受け身の姿勢にとどまらず、現代社会に提起されているさまざまな問題をどうしたら解決できるのか、科学技術をどのように発展させていくのかといった観点からより積極的に問題提起を行っていくことが重要ではないか。
- ・ イノベーション論について多面的に検討を行うことが必要である。その際、イノベーション論の国際的動向を踏まえるほか、その日本的展開、とくに戦後の技術革新論について歴史的視点から分析することも必要であろう。

(3) その他

次回分科会は夏ごろに開催することとし、『学術の動向』特集号の総括を踏まえて議論を行う。